

第51回定時総会開催

訪販化粧品工業協会は、6月19日（水）、第51回定時総会をアルカディア市ヶ谷（私学会館）において、36社（委任状を含む）の出席を得て開催しました。

総会では、西方和博会長の挨拶（別掲）の後、審議に入り、次の4議案が事務局提案どおりに承認されました。

第1号議案：2023年度事業報告、決算報告及び剰余金処分案に関する件

第2号議案：2024年度事業計画案及び収支予算案に関する件

第3号議案：「訪販化粧品工業協会会費」の見直しに関する件

第4号議案：役員補欠選任に関する件

また、総会終了後、記念講演会を開催しました。

本年度の講演会は、ミュージカル落語家 落語協会真打の 三遊亭 究斗 氏をお招きし、「落語家修行から学ぶ接遇マナー&コミュニケーション術」と題して開催しました。

引き続き開催した懇親会には、来賓として経済産業省、関係団体、報道関係者、実行委員・広報委員・消費者相談研究会会員等、数多くの方々が参集されました。

懇親会においては、冒頭、来賓の方々をご紹介し、次いで、来賓を代表して、経済産業省商務・サービスグループ 消費・流通政策課課長補佐の西澤真希氏が挨拶をされました。その後、山本専務理事が挨拶のうえ乾杯の発声となり、開宴に移り、出席者一同、時間まで懇親を深め、その後、盛会裏に散会となりました。

以上

第51回定時総会 会長挨拶文

訪販化粧品工業協会
会長 西方 和博

第51回定時総会を開催するに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

昨今、ツーリストも含めて町中に人流が戻り、人々の生活の息吹や活気が感じられるようになりました。

一方、エネルギー価格や物価の高騰など、消費や経済へ影響を及ぼす変化も起きています。

こうした中、賃金引上げの定着化等、消費意欲の高揚につながる前向きな材料も揃いつつあり、新たな明るい展開に期待したいと思えます。

市場では、景品表示法において、ステルスマーケティング広告が新たに不当表示として告示指定されたことに続き、課徴金制度などを見直す内容の改正法が、この秋にも施行されます。企業としての法令順守の観点やモラル、リテラシーの向上が強く問われることは言うまでもありません。

協会といたしましては、会員の皆様には、講習会の実施のほか、行政の動向、関連の法規改正等の情報をタイムリーにお届けするなど、公正・公平な事業活動と競争環境の整備へ努めてまいります。

他方、オンライン環境の進化・高度化により、多種多様な情報やサービスが、人々の暮らしに大きな変化をもたらしています。オンラインとオフラインの融合から生まれる新たな顧客体験こそが、対面販売の魅力をより引き出す新たな要素と捉えております。

デジタル化の進む現代にあっても、「人と人とのつながり」を基軸にする対面販売にしかできない価値提供により、新たな展望が描けるのではないかと考えます。

私どもの業界の良き伝統を守りながらも、時代の変化に対応できる柔軟な協会活動を今後とも目指してまいりたいと考えておりますので、皆さまにおかれましても、その実現に向けて、本協会への活動に対し、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、定時総会の開会に当たっての私のご挨拶とさせていただきます。